

## 8 共同利用・協同観測・研究交流

### 8.1 ドームレス太陽望遠鏡 (DST)

#### 8.1.1 共同利用

公開期間: 4月17日-7月28日、9月25日-2月9日 (約8ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計76日間 (約15週)

利用者 (実施順):

海宝孝祐 他 (茨城大学) 計5日間

「水平分光器を用いたフィラメントの磁場観測」

山本大二郎 他 (茨城大学) 計5日間

「太陽観測における SHAdow BAnd Ranger を用いたシーイングの定量化」

當村一朗 (大阪府立大学工業高専) 他 計10日間

「ケーデンス 1秒以下を目指した彩層の高速2次元分光観測」

三浦則明 (北見工業大学) 他 計7日間

「太陽 SLODAR と SHABAR の同時観測によるシーイング評価」

川手朋子 (宇宙科学研究所) 他 計10日間

「Ca II 三重項の同時観測によるフレアにおける直線偏光の起源」

竹田洋一 (国立天文台) 他 計10日間

「多数のスペクトル線の太陽中心-周縁にわたる観測的物理量データベース構築」

北井礼三郎 (佛教大学) 他 計5日間

「エラーマンボムの分光的に見た時間発展」

三浦則明 (北見工業大学) 他 計9日間

「地表層補償光学 (GLAO) と画像処理による太陽光球・彩層の高解像観測」

北井礼三郎 (佛教大学) 他 計5日間

「彩層ネットワーク微細構造の加熱とジェット」

花岡庸一郎 (国立天文台) 計5日間

「彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

末松芳法 (国立天文台) 計5日間

「太陽2次元面分光観測装置による活動領域やスピキュールの分光観測」

#### 8.1.2 他大学向け観測教育実習

(のべ5日)

10月23日 - 10月27日

茨城大学3年生 太陽分光観測実習